

都道府県番号	32
都道府県名	島根県

【 】

・学校名及び規模

重点をにおいてチェックすること

学校名	赤来町立赤来中学校					
学年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	2	1	0	4	13
生徒数	25	41	32	0	98	

・研究の概要

(1) 研究主題 (テーマ)

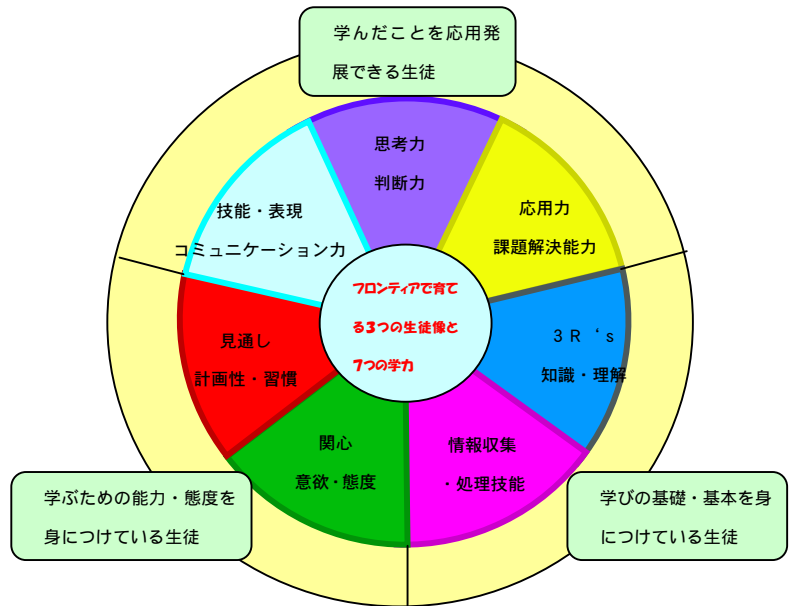
生きる力をはぐくむ確かな学力の育成  
〈キャッチフレーズ〉

学ぶ意欲を高め、個々の確かな学力をの  
ばす、学力向上レインボープラン  
～めざす生徒像・学力を教師と生徒  
が共有することで～

(2) 研究主題設定の趣旨

「確かな学力」とは全人的な「生きる力」の一部をなすものである。したがって、すべての教育課程を通して全人的、有機的にはぐくんでいくことが大切であると考えている。また、「確かな学力」は教師のみが理解していても学ぶ主体である生徒自身が理解し、自分の目標として掲げ自分の力で育てていく努力をしなければはぐくまれるものではない。そこで、目指す生徒像と学力を教師と生徒が共有することによって「生きる力をはぐくむ確かな学力」を育てようと考えた。本校では「確かな学力を7つの学力(図参照)としてとらえ、教育課程、教材、指導法の工夫はもちろん、教師と生徒が目に見える形で学力の評価を共有し、ともに次の目標としてめざしていける評価プランを立案した。

これを、「学力向上レインボープラン」と名づけ、キャッチフレーズとして掲げ研究に取り組んでいる。



・研究の内容

(1) 研究推進体制の工夫

平成15年度 赤来中学校 研究推進体制						
校長						
教頭						
研究推進委員会						
研究企画・調整・広報						
少人数・TT部会			選択教科部会			
英語部会	数学部会	選択マスター部会	選択ベスト部会	選択チャレンジ部会	総合的学習部会	教育課程外部部会
		国・数・英・社・理(補充)	国・数・英・社・理(課題学習)	専・英・体・保健・技・家(発展)		
指導法・指導体制・教材開発・評価についての研究改善改善などの実践研究						
指導法研究部会		評価部会			教材開発部会	
指導法の研究・計画		評価研究と計画の調整			教材開発研究・計画	

(2) 研究の実際

すべての教科において共通して利用できる評価システムソフトを開発した。これを用いて7つの学力に対する評価をグラフ化した**レインボーチャート**を生徒一人一人に作成した。このレインボーチャートにより、生徒一人一人への指導の重点を明確化し指導に生かした。また、生徒の自己評価に活用し、生徒自らが課題や目標を見つけていけるように指導した。

赤来中学校成績評価システム…レインボーチャート作成システム

活用目的…教師の指導の手立てとして・生徒自身の次の目標として

活用時期…学習過程の形成的評価・学期末の成績処理(総合的评价)・学期末の生徒の自己評価として

シート1(説明書番号2)

生徒氏名入力欄

番号	氏名
1	山田花子
2	山田太郎
3	3番
4	4番
5	5番
6	6番
7	7番
8	8番
9	9番

生徒氏名の入力

生徒データのクリア

一番最初にクリアして

次に氏名を入力を

最初にデータ入力して

最後にこのボタンを

シート2(説明書

教科名  
社会

番号3)

新規評価表の作成

教科ごとの7つの観点の入力

7観点評価項目名	
A	関心・意欲・態度
B	見通し・計画性・習慣
C	3r's・知識・理解・技能
D	情報収集・処理技能
E	表現・技能・コミュニケーション力
F	思考力・判断力
G	応用力・課題解決能力

4~5 観点の入力と重み付け

4観点・5観点評価項目名		重み
1	関心・意欲・態度	25%
2	思考力・判断力	25%
3	資料活用能力	25%
4	知識・理解	25%
5		

5段階評定の達成率の設定

評定一覧	
0%	1
20%	2
40%	3
70%	4
85%	5

観点別評価の達成率の設定

ABC評点パーセンテージ	
%	評点
0%	C
40%	B
80%	A

基礎データ一覧(最大100)			
基礎データ項目名	満点	7観点評価項目	4観点・5観点評価項目
発言	10	A 関心・意欲・態度	1 関心・意欲・態度
忘れ物チェック	9	B 見通し・計画性・習慣	1 関心・意欲・態度
宿題	6	B 見通し・計画性・習慣	1 関心・意欲・態度
ワーク【自主学習地理①】	20	B 見通し・計画性・習慣	1 関心・意欲・態度
ワーク【自主学習地理②】	15	B 見通し・計画性・習慣	1 関心・意欲・態度
ワーク【自主学習歴史①】	15	B 見通し・計画性・習慣	1 関心・意欲・態度
ワーク【アクティブ地理】	3	B 見通し・計画性・習慣	1 関心・意欲・態度
時差	8	F 思考力・判断力	2 思考力・判断力
中間テスト	10	F 思考力・判断力	2 思考力・判断力
期末テスト	10	F 思考力・判断力	2 思考力・判断力
緯度・経度	12	E 表現・技能・コミュニケーション力	3 資料活用能力
世界地図	5	E 表現・技能・コミュニケーション力	3 資料活用能力
中間テスト	17	D 情報収集・処理技能	3 資料活用能力
期末テスト	35	D 情報収集・処理技能	3 資料活用能力
大陸海洋	9	C 3r's・知識・理解・技能	4 知識・理解
歴史追試	20	C 3r's・知識・理解・技能	4 知識・理解
中間テスト	53	C 3r's・知識・理解・技能	4 知識・理解
期末テスト	40	C 3r's・知識・理解・技能	4 知識・理解

具体的評価内容の入力

評価内容ごとの満点の設定

7つの観点の分類入力

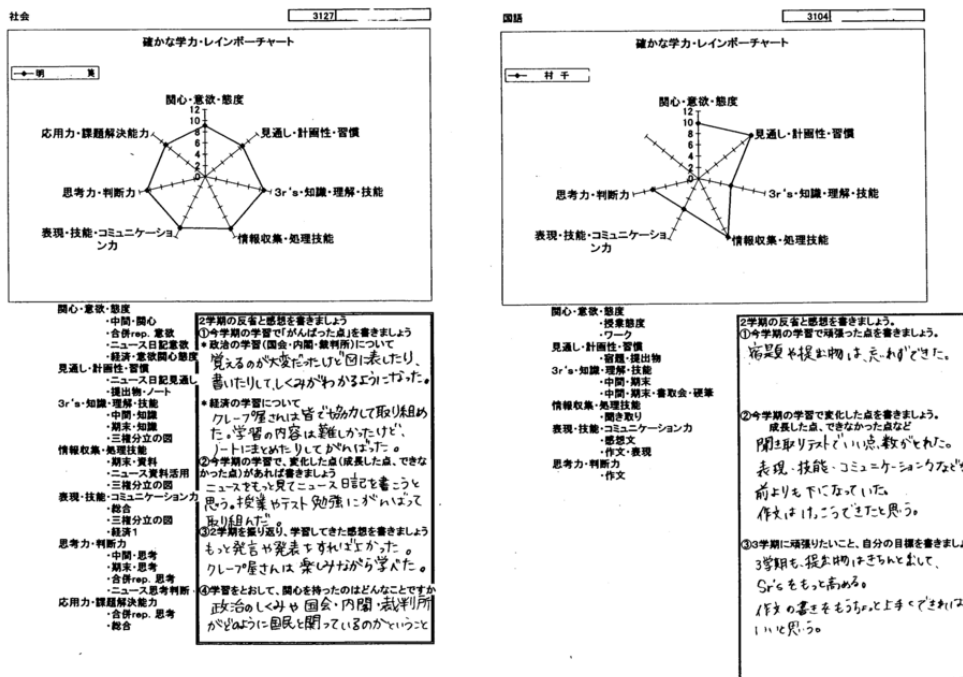
4~5 観点の分類入力

シート3(説明書番号4)

番号	氏名	関心・意欲・態度							合計点	達成率(%)	評価
		発言	忘れ物チェック	宿題	ワーク【自主学習地理①】	ワーク【自主学習地理②】	ワーク【自主学習歴史①】	ワーク【アクティブ地理】			
1101		10	9	5	20	15	15	3	77	98.7%	A
1102		2	6	6	20	15	15	3	67	85.9%	A
1103		0	0	3	20	15	10	2	50	64.1%	B
1104		6	6	5	20	15	15	2	69	88.5%	A
1105		4	9	5	20	15	15	3	71	91.0%	A
1106		10	3	5	20	15	10	2	65	83.3%	A

自動的に4~5観点ごとの点数一覧と合計点、達成率、A/B/Cの評定および5段階評定を表示

実際に活用したレインボーチャート例



(3) 研究の成果と課題

- ・ 教職員の指導力の向上を目指して、広島県の塾および予備校を視察するとともに、広島県のフロンティア校を夏休みに全教員で視察した。・・・指導力向上のための職員研修の充実
- ・ 選択教科（マスターコース）における基礎・基本の定着を目指した教材の開発と効果的な IT の工夫により基礎力の底上げを図ることができた。・・・教材開発と効果的な IT
- ・ 育てた学力・研究の成果を検証し、指導に生かしていくための評価のシステムソフトを開発し、それを各教科で生徒一人一人について作成し、指導に用いた。・・・指導と評価の一体化を目指したレインボーチャートの活用
- ・ 7つの学力をバランスよく伸ばしていくために各教科・分野で、具体的な手だてを明らかにし、それを重点化して、研究実践をさらに積んで、その成果を広く普及していく。

レインボーチャートのより効果的な活用法（生徒・保護者への説明も含めて）・・・指導法および教材  
 必修教科と選択教科、総合的な学習の時間をリンクさせ、より効果的な学力向上への取り組みを探る・・・指導法および教材  
 学校での学習で意欲を高めて、家庭学習とのサイクルを確立する方策

(4) 研究成果の普及の方策

地域との連携の推進、情報発信について  
 公開授業(少人数習熟度別クラス)の実施  
 学校だよりによる説明、研究実践集録の発刊、ホームページによる公開  
 URL: <http://www.town.akagi.shimane.jp/akagichu/>

他校との連携の推進、情報発信  
 中高一貫教育による飯南高校との連携  
 町内各小学校との情報交換（8月26日 町教研で懇談会を実施）  
 フロンティアスクール地区協議会での授業公開（9月19日実施）

(5) その他・・・長期休業中における学習会の実施

～サマースクール・ウィンタースクールにおける大学生チューターの活用～

---

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】	15年度からの新規校	14年度からの継続校		
【学校規模】	3学級以下	4～6学級		
	7～9学級	10～12学級		
	13～15学級	16学級以上		
【指導体制】	少人数指導 その他	T・Tによる指導		
【研究教科】	国語	社会	数学	理科
	外国語	音楽	美術	技術・家庭
	保健体育	その他		
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】		有	無	

---

【特色ある取組事例として紹介したいポイント(都道府県教育委員会記入)】

「学力向上レインボープラン」で、教師と生徒が目に見える形で評価を共有し、「生きる力をはぐくむ確かな学力」を育てようとした。